

## 平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス  
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 054-281-5238

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	10,422	△3.4	492	△29.1	437	△31.2	277	△36.7
25年8月期第3四半期	10,793	△1.8	693	63.7	635	66.6	438	8.0

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 298百万円 (△41.6%) 25年8月期第3四半期 511百万円 (32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	23.38	23.16
25年8月期第3四半期	36.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	16,934		6,523			38.1
25年8月期	17,513		6,324			36.1

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 6,444百万円 25年8月期 6,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年8月期	—	5.00	—		
26年8月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年8月期期末配当の内訳 記念配当5円00銭

### 3. 平成26年 8月期の連結業績予想(平成25年 9月 1日～平成26年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△2.5	750	△16.9	680	△16.9	400	△30.1	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期3Q	12,189,720 株	25年8月期	12,189,720 株
26年8月期3Q	311,739 株	25年8月期	311,739 株
26年8月期3Q	11,877,981 株	25年8月期3Q	11,894,486 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見直し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年9月1日～平成26年5月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により輸出環境の改善や株価の上昇など緩やかな回復基調が続きました。一方、新興国の減速を背景とした世界経済の下振れなどが国内経済を下押しする懸念要因となっております。

当社グループが属する健康食品市場は、高齢者人口の増加と、消費者の健康維持・増進、アンチエイジングに対する意識の高さから、今後とも潜在需要は引き続き順調に推移するものと思われます。一方、企業間の競争は異業種からの新規参入や価格競争の激化など一層激しさを増しており、特に当連結累計期間においては市場の牽引役であった通信販売が消費税増税前の駆け込み需要を除き前年割れが続くなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下当会計期間では、消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、連結売上高が前年同期の売上高を上回る結果となりました。しかしながら、第2四半期連結累計期間までの、不採算店舗閉鎖等による減収分を取り戻すまでには至らず、当累計期間の連結売上高は10,422百万円（前年同期比3.4%減）となりました。損益面については、経費の節減に努めたものの、減収による売上総利益の減少が影響し、営業利益は492百万円（前年同期比29.1%減）、経常利益は437百万円（前年同期比31.2%減）、四半期純利益は277百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

## 事業の種類別セグメントの概況

## ①ヘルスケア事業

## ・OEM部門

主力事業である当部門は、第2四半期に続き青汁、スムージーなど一般食品寄りの商品が好調に推移いたしました。一方、前期引き合いの強かったダイエット商材の受注が一段落した影響により、部門全体では売上高を伸ばすまでには至りませんでした。一般食品寄り商品の充実を図るため、ゼリー形状の商品を開発し、発売を開始いたしました。今後、さらにこの分野における商品開発、受注拡大に注力してまいります。

## ・海外部門

シンガポールのAFC代理店におけるダイエット商材でのTVコマーシャルが引き続き好結果となりました。一方、高価格商材であるコラーゲンドリンクの市場低迷、また台湾での販売チャネルの多様化が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

## ・通信販売部門

健康食品における通販市場の低迷が続く中、引き続き異業種他社とタイアップした通販カタログ事業に注力し、販路の拡大に努めました。上半期伸長した「レアシュガーシロップ+オリゴ糖」は希少糖の報道の減少に伴い受注が落ち着き、当部門の売上高は前年同期並みに推移いたしました。6月より定番人気商材のリニューアル発売を順次進めており、成分と配合量にこだわった新シリーズ“GOLDシリーズ”のラインアップの拡充、販促を強化してまいります。

## ・卸販売部門

希少糖の話題性も影響し、展示会において「レアシュガーシロップ+オリゴ糖」の受注が好調に推移いたしました。しかしながら、要員の減少による販促体制の不足が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。引き続き主力商品「ハートフルシリーズ」の拡充を図るとともに、既存取引先への営業活動、展示会への出展による販路拡大、ならびに広告宣伝・販売促進によるAFCブランドの強化と売り場の活性化に努めてまいります。

## ・店舗販売部門

引き続き試供品やリーフレットなど販促物を増やし、積極的に配布することで新規顧客の獲得及び商品の拡販を図りました。また百貨店とタイアップした通信販売事業にも注力し、5月に老舗百貨店と通信販売で業務提携いたしました。既存店ベースでは前年同期の売上高を上回ったものの、利益追求のため不採算店舗の閉鎖を進めたことにより、部門全体の売上高は前年同期を下回る結果となりました。今後、当部門は“百貨店における店舗販売”“百貨店とタイアップした通信販売”“百貨店とタイアップした外商販売”の3つを軸に、売上倍増を図ります。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高9,346百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益806百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効果効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。

以上の結果、医薬品の卸販売部門においては、前年同期並みの売上高となったものの、店舗販売部門における不採算店舗などの閉鎖が影響し、医薬品事業全体では、売上高が1,075百万円（前年同期比5.6%減）となりました。一方損益面については前述の不採算店舗の閉鎖効果などにより、営業利益70百万円（前年同期比35.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ433百万円減少し、8,083百万円となりました。この減少要因は主として、流動資産のその他が128百万円、仕掛品が60百万円増加した反面、現金及び預金が512百万円、受取手形及び売掛金が138百万円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ145百万円減少し、8,850百万円となりました。この減少要因は主として、減価償却などにより有形固定資産が147百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、6,671百万円となりました。この減少要因は主として、支払手形及び買掛金が105百万円、賞与引当金が72百万円増加した反面、未払法人税等が249百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ712百万円減少し、3,739百万円となりました。この減少要因は主として、長期借入金が608百万円、固定負債のその他が85百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、6,523百万円となりました。この増加要因は主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が99百万円増加したことに加え、新株予約権が79百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月9日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,473,237	3,960,490
受取手形及び売掛金	1,829,848	1,690,957
商品及び製品	895,214	885,187
仕掛品	575,308	635,445
原材料及び貯蔵品	604,913	599,172
その他	191,222	320,162
貸倒引当金	△52,182	△7,770
流動資産合計	8,517,563	8,083,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,223,133	3,113,773
土地	4,002,184	4,075,461
その他(純額)	1,065,378	953,762
有形固定資産合計	8,290,697	8,142,997
無形固定資産		
のれん	7,142	6,377
その他	52,996	42,563
無形固定資産合計	60,138	48,940
投資その他の資産		
その他	652,769	682,299
貸倒引当金	△7,437	△23,473
投資その他の資産合計	645,332	658,825
固定資産合計	8,996,168	8,850,764
資産合計	17,513,731	16,934,409
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,554,929	1,660,813
短期借入金	3,816,170	3,820,775
未払法人税等	265,870	16,280
賞与引当金	95,800	168,150
ポイント引当金	50,000	46,000
その他	954,635	959,045
流動負債合計	6,737,404	6,671,063
固定負債		
社債	450,000	400,000
長期借入金	2,654,137	2,045,358
役員退職慰労引当金	346,704	362,446
退職給付引当金	184,116	200,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負ののれん	4,506	4,083
その他	812,386	727,332
固定負債合計	4,451,850	3,739,484
負債合計	11,189,255	10,410,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,482,684
利益剰余金	3,672,870	3,772,426
自己株式	△228,223	△228,223
株主資本合計	6,332,830	6,432,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,354	12,260
その他の包括利益累計額合計	△8,354	12,260
新株予約権	—	79,213
純資産合計	6,324,475	6,523,860
負債純資産合計	17,513,731	16,934,409



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	10,793,813	10,422,654
売上原価	7,408,002	7,258,047
売上総利益	3,385,810	3,164,606
販売費及び一般管理費	2,691,907	2,672,312
営業利益	693,902	492,294
営業外収益		
受取利息	255	745
受取配当金	9,731	10,110
負ののれん償却額	422	422
助成金収入	16,827	13,121
その他	20,127	21,434
営業外収益合計	47,364	45,835
営業外費用		
支払利息	96,275	85,219
その他	9,578	15,473
営業外費用合計	105,854	100,692
経常利益	635,413	437,436
特別利益		
投資有価証券売却益	90,227	2,863
補助金収入	72,375	—
特別利益合計	162,602	2,863
特別損失		
固定資産除却損	8,384	3,329
減損損失	5,861	—
特別損失合計	14,245	3,329
税金等調整前四半期純利益	783,770	436,971
法人税、住民税及び事業税	338,484	189,448
法人税等調整額	6,877	△30,202
法人税等合計	345,361	159,246
少数株主損益調整前四半期純利益	438,408	277,725
四半期純利益	438,408	277,725

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	438,408	277,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,630	20,615
その他の包括利益合計	72,630	20,615
四半期包括利益	511,038	298,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,038	298,340
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,654,635	1,139,177	10,793,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,654,635	1,139,177	10,793,813
セグメント利益	964,236	51,829	1,016,066

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,016,066
全社費用(注)	△322,163
四半期連結損益計算書の営業利益	693,902

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,346,834	1,075,820	10,422,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,346,834	1,075,820	10,422,654
セグメント利益	806,935	70,185	877,120

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	877,120
全社費用(注)	△384,826
四半期連結損益計算書の営業利益	492,294

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。